

2025年度（令和7年度）

明石市水道事業会計

当初予算概要

明石市上下水道局



【令和7年（2025年）4月】

目次

1.予算編成方針.....	- 1 -
2.業務の予定量	- 1 -
3.水道事業会計の仕組み	- 2 -
4.予算の規模	- 3 -
5.水道事業における収支相関のモデル図	- 6 -
6.令和7年度予算.....	- 8 -
7.主要な施策	- 12 -
8.予定工事箇所図(令和7年度当初予算)	- 17 -
9.【参考】明石市水道事業運営に係る主な情報資料の掲載先等.....	- 21 -

1. 予算編成方針

本市の水道事業においては、節水意識の高揚や、設備機器の技術革新、生活様式の変化等による使用水量の減少に伴い、減収傾向が今後も続いていくと考えられ、また長期的には給水人口が減少していくことによる使用水量の減少なども予測されるため、収益的収支はより厳しい状況に陥るものと見込んでいます。

また明石川河川水からの水源転換や、水道施設の再整備、老朽管路の更新等には多額の経費が見込まれ、これらの財源としては、まずは補てん財源（内部留保資金等）を充てることを想定していますが、現状では十分な補てん財源があるとは言えず、施設更新等の財源見通しは厳しい状況です。

従って令和7年度の水道事業予算編成においては、厳しい財政状況を鑑みて、安全・安定給水の観点に立った利用者本位の水道事業を推進し、また補助金・負担金その他の新たな財源確保の検討や、事務事業の見直し、業務の効率化を継続して取り組みつつ、水道事業経営戦略(*)及び中期経営計画(*)に基づく財政基盤の強化、健全性確保に最大限努めるとともに、可能な限り計画的、合理的な事業運営・施設整備を進めることを旨として編成します。

2. 業務の予定量

(1) 年度末給水戸数

給水戸数は、直近決算値である令和5年度末の147,494戸に過去5年間の平均増減率を加味して、令和7年度の給水戸数を算出し、計上しています。

(戸)

	給水戸数	増減
令和元年度(決算)	142,945	
令和2年度(決算)	143,721	+776
令和3年度(決算)	145,095	+1,374
令和4年度(決算)	146,207	+1,112
令和5年度(決算)	147,494	+1,287
令和6年度(見込)	148,300	+806
令和7年度(予算)	149,800	+1,500

(2) 年間有収水量

令和5年度及び令和6年度上半期における対前年度同期増減率などに基つき、令和7年度の各期における予測水量を算出し、計上しています。

(m³)

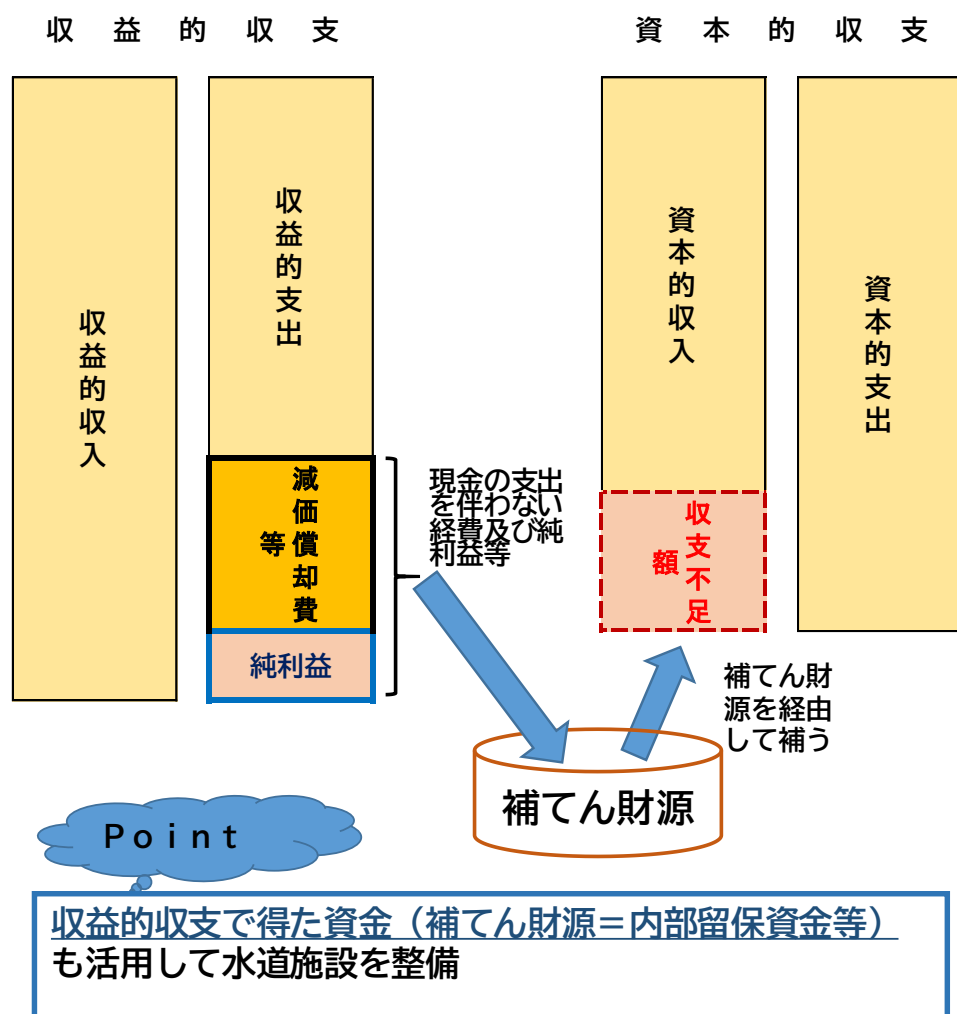
	有収水量	増減
令和元年度(決算)	31,465,043	
令和2年度(決算)	31,775,642	+310,599
令和3年度(決算)	31,370,314	△405,328
令和4年度(決算)	30,963,888	△406,426
令和5年度(決算)	30,917,409	△46,479
令和6年度(見込)	31,060,000	+142,591
令和7年度(予算)	30,720,000	△340,000

3.水道事業会計の仕組み

水道事業は、原則税金ではなく、市民の皆さまからの水道料金で事業を行う「独立採算制」で経営を行っており、会計も一般的な行政経費を扱う「一般会計」から独立して「水道事業会計」として経理を行っています。また水道事業会計は、地方公営企業法に基づき「収益的収支」と「資本的収支」に分けて経理し、発生主義会計を採用しています。

- 収益的収支 . . . 1年間の経営活動によって生じる収益と費用で構成される。
日々の事業を運営するための取引。
- 資本的収支 . . . 建設投資や企業債償還等の支出とその財源の収入で構成される。
水道施設の整備など将来にわたって長く使うものの取引。
- 発生主義 . . . 現金収支の有無に関わらず、経済活動の発生という事実に基づいて会計処理を行う。よって減価償却費などの非現金支出も計上。
- 補てん財源 . . . 生じた利益や、現金支出がない費用である減価償却費などが補てん財源となる。資本的収支の不足分は補てん財源で補てんする。

○基本的な水道事業会計仕組み図（収益的収支で純利益が発生し、資本的収支の不足を補てんする）



4. 予算の規模

(1) 水道事業の総事業費（支出総額）（税込み）

（千円）

当初予算額	収益的支出	資本的支出	支出総額
令和6年度	6,727,258	5,655,976	12,383,234
令和7年度	7,254,442	4,567,274	11,821,716
増減	+527,184	△1,088,702	△561,518

令和7年度の支出総額（収益的支出と資本的支出の合計額）は11,821,716千円で、令和6年度の当初予算と比較して561,518千円減少しています。

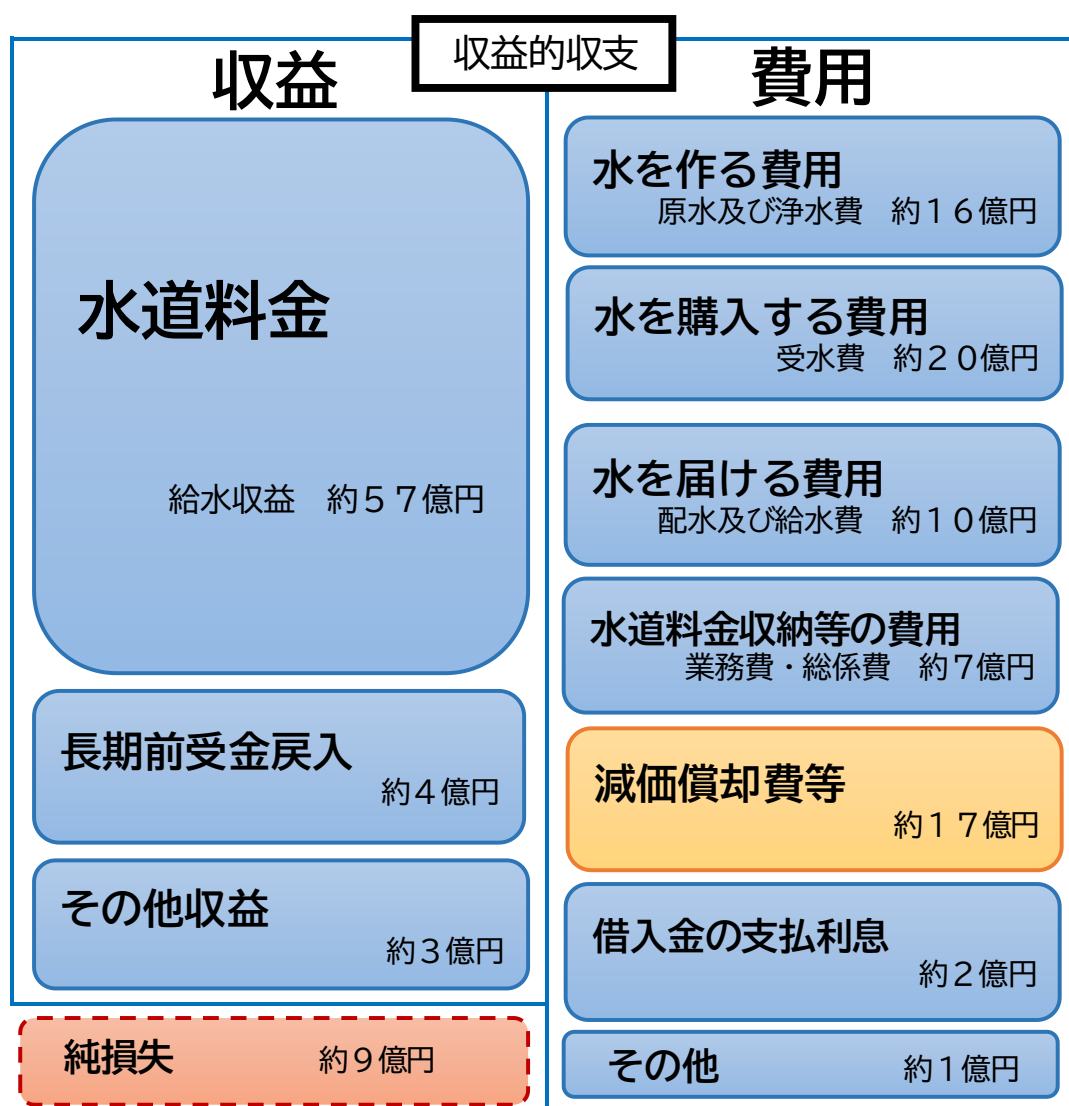
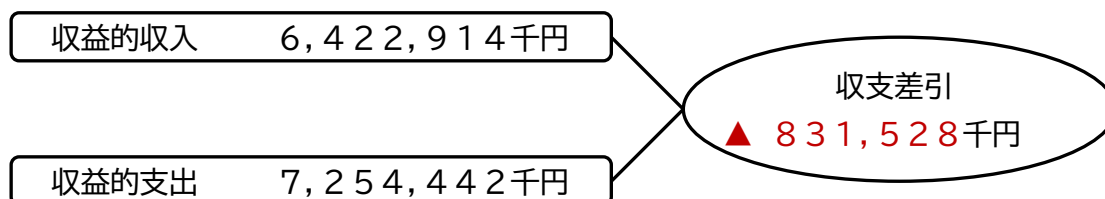
この主な要因は、用水供給事業者（兵庫県企業庁や阪神水道企業団）からの受水費用が前年度比較で434,073千円増加したことなどで収益的支出が527,184千円増加した一方で、建設改良費のうち「第4次整備事業費」が前年度比較で1,087,122千円減少したことなどで資本的支出が1,088,702千円減少したことによるものです。

また資本的収支では、水道料金のような大きな収入がないため、資本的支出に対して不足額が発生します。この不足額は、水道事業の貯金である補てん財源を取り崩して補います。

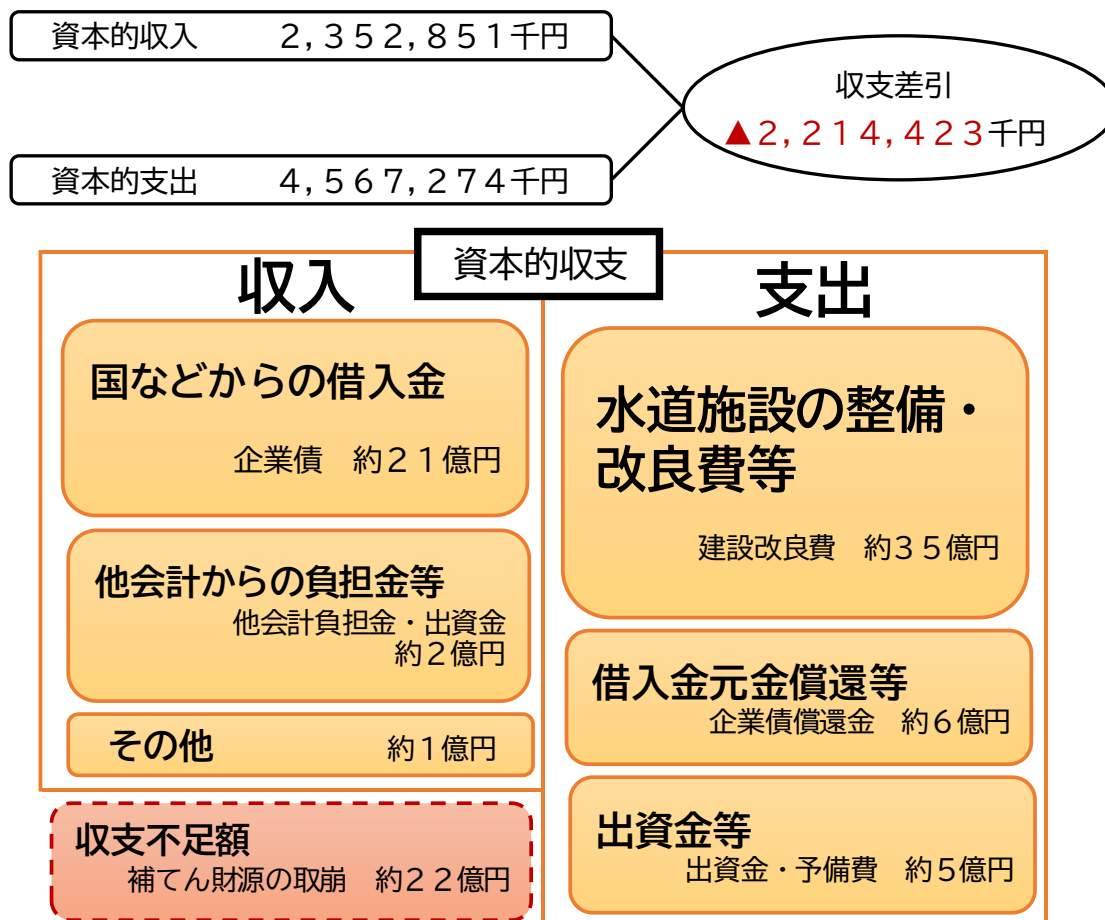
令和7年度においても水道施設の整備や老朽管布設替を推進するなど、継続して安全で良質な水道水の安定した供給に努めます。

以下に、収益的収支（収入と支出）、資本的収支（収入と支出）及び資本的収支の不足額に対する補てんに関する概要を説明します。

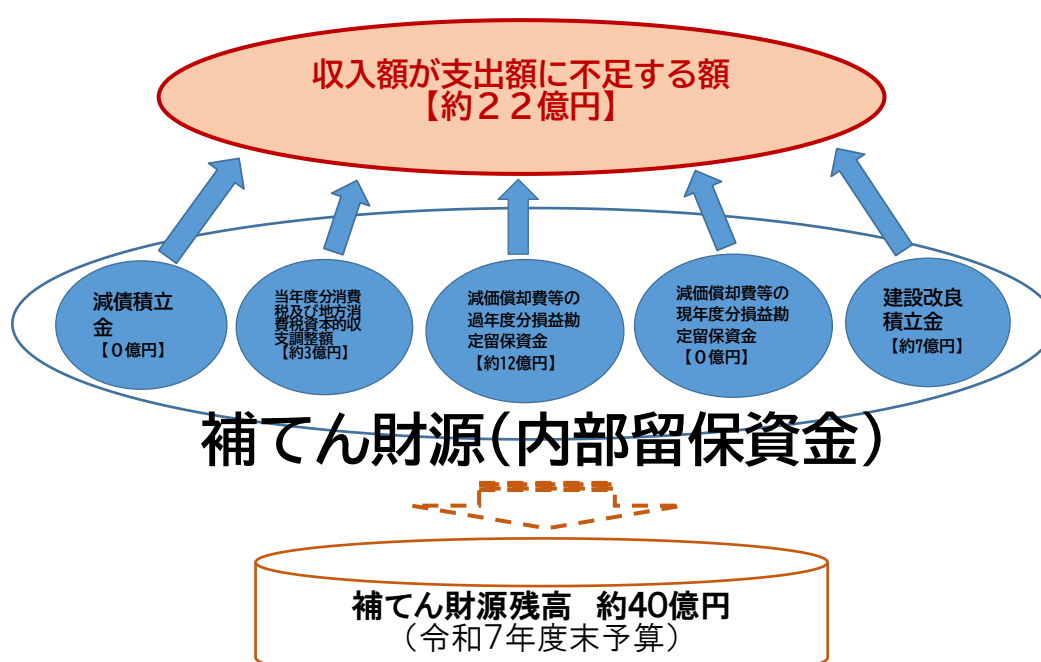
(2) 収益的収入及び支出（税込み）



(3) 資本的収入及び支出（税込み）

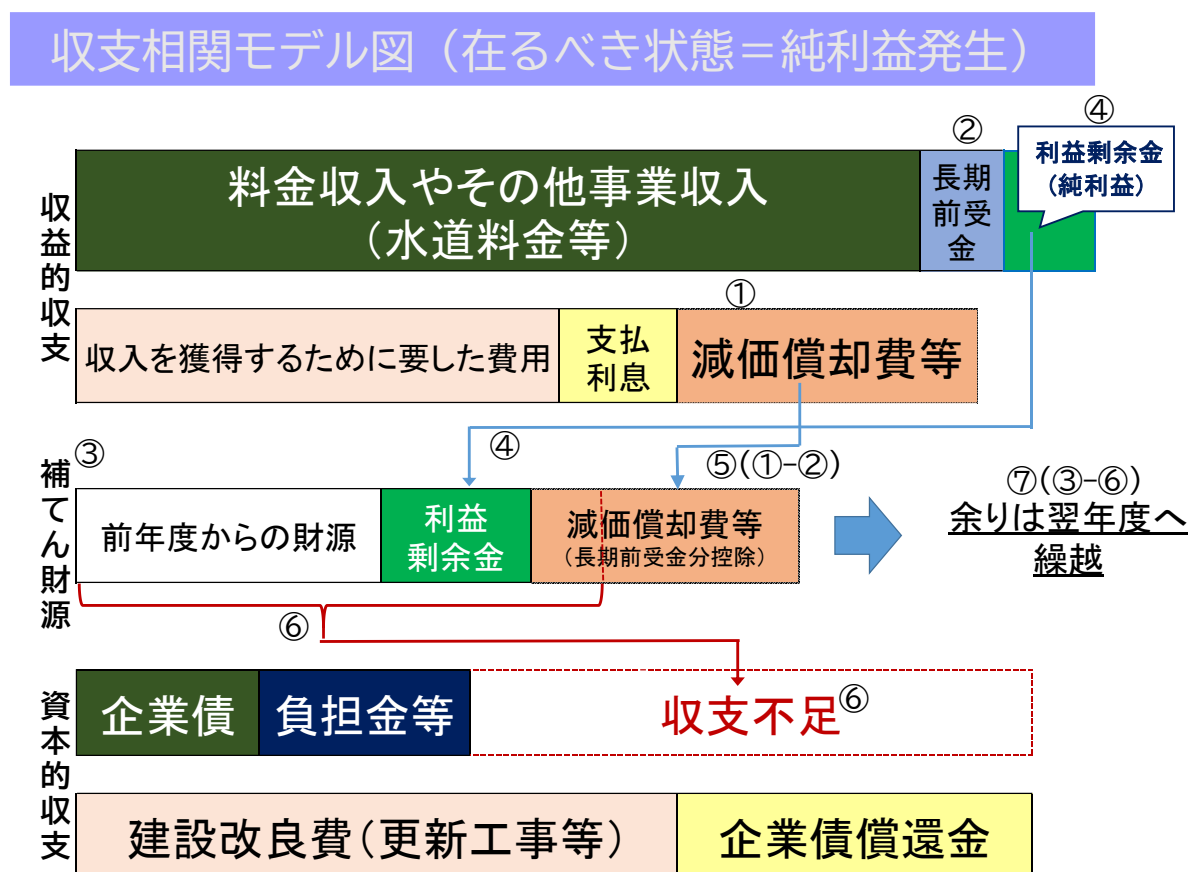


(4) 資本的収支の不足額の補てん



5.水道事業における収支相関のモデル図

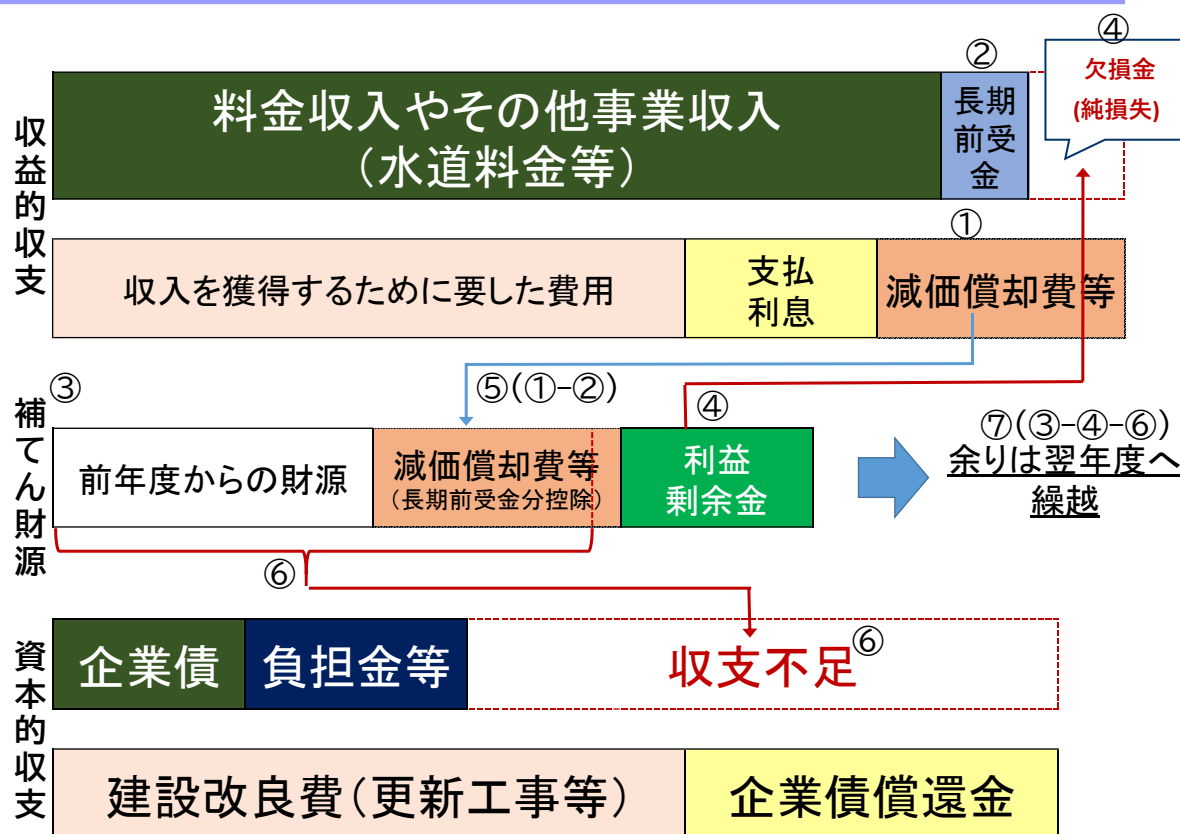
(1) 一般的な水道事業における収支相関モデル図（在るべき状態＝純利益発生）



- ① 施設等の固定資産を、その耐用年数で按分し、毎年度分割して費用化、又は廃棄する際の残存価値を費用化する。
- ② 施設整備等に充てるための補助金・負担金等を、当該施設の耐用年数で按分し、毎年度分割して収益化する。
- ③ 毎事業年度に発生した利益や費用化したが無現金支出を伴わない減価償却費等を、プール（内部留保）している。
- ④ 経営活動の結果として発生する純利益を、毎事業年度、一旦補てん財源のうちの利益剰余金にプールさせる。
- ⑤ 実際には現金支出を伴わない費用である減価償却費等（長期前受金を控除後）を、一旦補てん財源にプールする。
- ⑥ プールされている補てん財源を使用して、資本的収支の不足額を埋め合わせる（補てんする）。
- ⑦ 補てん財源のうち、当年度の資本的収支不足額の補てんに使用後の残額を、翌年度に繰り越しする。

(2) 明石市水道事業における収支関連モデル図（現在の状態＝純損失発生）

収支関連モデル図（現在の状態＝純損失発生）



- ① 施設等の固定資産を、その耐用年数で按分し、毎年度分割して費用化、又は廃棄する際の残存価値を費用化する。
- ② 施設整備等に充てるための補助金・負担金等を、当該施設の耐用年数で按分し、毎年度分割して収益化する。
- ③ 過去の事業年度に発生した利益や費用化したが現金支出を伴わない減価償却費等を、プール（内部留保）している。
- ④ 経営活動の結果として発生する純損失を、補てん財源のうちの利益剰余金を使用して埋め合わせる（補てんする）。
- ⑤ 実際には現金支出を伴わない費用である減価償却費等（長期前受金を控除後）を、一旦補てん財源にプールする。
- ⑥ プールされている補てん財源を使用して、資本的収支の不足額を埋め合わせる（補てんする）。
- ⑦ 補てん財源のうち、当年度の収益的収支及び資本的収支の不足額の補てんに使用後の残額を、翌年度に繰り越す。

6.令和7年度予算

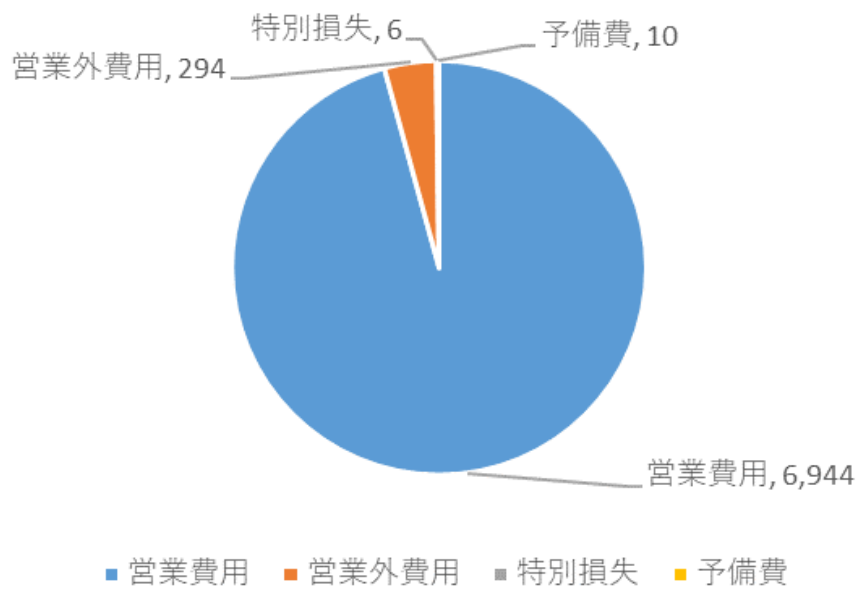
(1) 収益的収入及び支出

(千円)

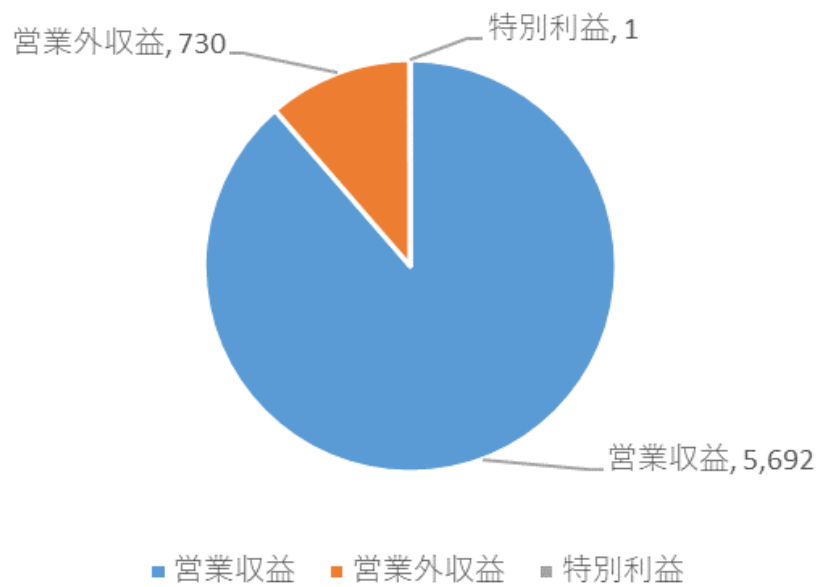
区分		令和7年度(当初)	令和6年度(当初)	増減	前年比(%)	備考
収入	1 営業収益	5,692,697	5,613,446	79,251	100.0%	
	(給水収益)	(5,460,000)	(5,390,000)	(70,000)	(100.0%)	
	(受託工事収益)	(5,823)	(15,401)	(△ 9,578)	(40.0%)	
	(その他営業収益)	(226,874)	(208,045)	(18,829)	(110.0%)	
	2 営業外収益	729,997	799,742	△ 69,745	90.0%	
	(受取利息)	(7,200)	(1,000)	(6,200)	(720.0%)	
	(他会計補助金)	(50,204)	(98,486)	(△ 48,282)	(50.0%)	
	(長期前受金戻入)	(404,000)	(441,000)	(△ 37,000)	(90.0%)	
	(施設分担金)	(230,000)	(240,000)	(△ 10,000)	(100.0%)	
	(その他)	(38,593)	(19,256)	(19,337)	(200.0%)	
	3 特別利益	220	1,120	△ 900	20.0%	
	水道事業収益 計	6,422,914	6,414,308	8,606	100.0%	
支出	1 営業費用	6,944,042	6,423,858	520,184	110.0%	
	(原水及び浄水費)	(1,584,748)	(3,090,116)	(△ 1,505,368)	(50.0%)	※1
	(受水費)	(1,994,812)	(0)	(1,994,812)		皆増 ※1
	(配水及び給水費)	(961,431)	(958,843)	(2,588)	(100.0%)	
	(受託工事費)	(9,560)	(26,689)	(△ 17,129)	(40.0%)	
	(業務費)	(374,917)	(342,383)	(32,534)	(110.0%)	
	(総係費)	(291,574)	(250,327)	(41,247)	(120.0%)	
	(減価償却費)	(1,639,000)	(1,655,000)	(△ 16,000)	(100.0%)	
	(資産減耗費)	(87,500)	(100,000)	(△ 12,500)	(90.0%)	
	(その他)	(500)	(500)	(0)	(100.0%)	
	2 営業外費用	294,000	287,000	7,000	100.0%	
	(支払利息等)	(214,000)	(157,000)	(57,000)	(140.0%)	
	(消費税等)	(80,000)	(130,000)	(△ 50,000)	(60.0%)	
	3 特別損失	6,400	6,400	0	100.0%	
	4 予備費	10,000	10,000	0	100.0%	
	水道事業費用 計	7,254,442	6,727,258	527,184	110.0%	
収支差引		△ 831,528	△ 312,950	△ 518,578	—	

※1 受水費は、令和6年度までは「(原水及び浄水費)」に計上していたが、令和7年度からは「(受水費)」に計上。

水道事業費用（百万円）



水道事業収益（百万円）



(2) 資本的収入及び支出

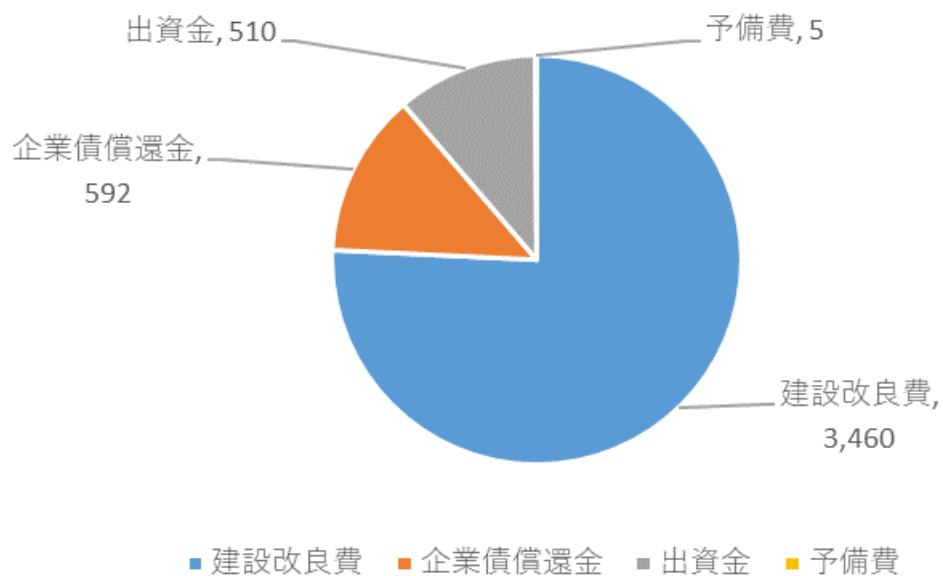
(千円)

区分		令和7年度(当初)	令和6年度(当初)	増減	前年比(%)	備考
収入	1 企業債	2,121,000	3,117,500	△ 996,500	70.0%	※1
	2 工事負担金	19,901	4,445	15,456	450.0%	
	3 他会計負担金	47,600	40,000	7,600	120.0%	
	4 他会計出資金	162,250	197,553	△ 35,303	80.0%	※2
	5 固定資産売却代金	2,100	2,100	0	100.0%	
	資本的収入 計	2,352,851	3,361,598	△ 1,008,747	70.0%	
支出	1 建設改良費	3,460,274	4,494,976	△ 1,034,702	80.0%	
	(第4次整備事業費)	(1,787,849)	(2,874,971)	(△ 1,087,122)	(60.0%)	※3
	(老朽管整備事業費)	(970,447)	(937,625)	(32,822)	(100.0%)	※4
	(建設改良事業費)	(152,088)	(152,000)	(88)	(100.0%)	
	(固定資産購入費)	(434,680)	(418,000)	(16,680)	(100.0%)	※5
	(事務費)	(115,210)	(112,380)	(2,830)	(100.0%)	
	2 企業債償還金	592,000	644,000	△ 52,000	90.0%	
	3 出資金	510,000	512,000	△ 2,000	100.0%	※6
	4 予備費	5,000	5,000	0	100.0%	
	資本的支出 計	4,567,274	5,655,976	△ 1,088,702	80.0%	
収支差引		△ 2,214,423	△ 2,294,378	79,955	—	

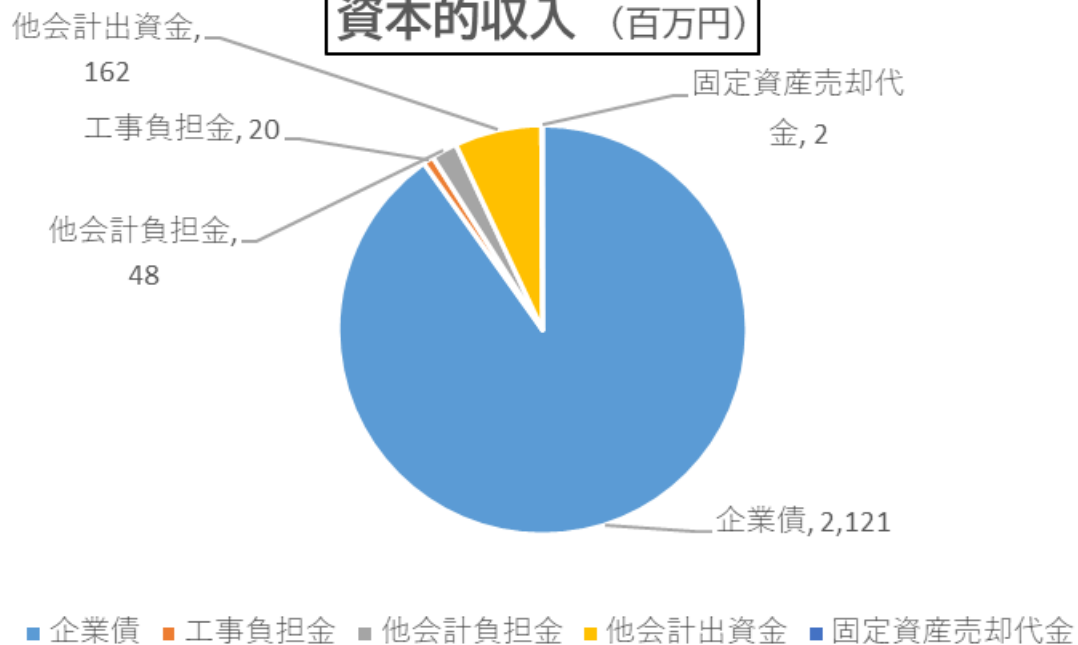
資本的収支不足額 △ 2,214,423千円 は、損益勘定留保資金等で補てんします。

※1	(主な内容)	第4次整備事業費分	1,571,100千円
		老朽管整備事業費分	549,900千円
※2	(主な内容)	水道広域化推進事業に係る一般会計出資金	162,250千円
※3	(主な内容)	魚住浄水場設備更新工事(4期目)	1,165,230千円
		神戸市連絡管布設(その2)工事	273,500千円
		魚住浄水場送水管布設(その3)工事	107,000千円
※4	(主な内容)	魚住町錦が丘3丁目地内配水管布設替工事	210,000千円
		大久保町高丘1丁目地内配水管布設替工事(2期目)	203,060千円
		明南町3丁目ほか地内配水管布設替工事	166,000千円
※5	(主な内容)	阪神水道企業団への加入負担金(分賦金相当分)	390,000千円
※6	(主な内容)	阪神水道企業団への加入負担金(出資金相当分)	510,000千円

資本的支出（百万円）



資本的收入（百万円）



7.主要な施策

(1) 施設拡張、改良又は更新等に関する主な取り組み

①管路更新・耐震化整備 (予算額：970,447千円)

老朽管更新計画に基づき、法定耐用年数を経過した水道管を耐震性の高い水道管に更新します。施工予定延長 4,355m。



工事場所	内容
魚住町錦が丘 3丁目地内	ダクタイル鋳鉄管φ100mm 他 施工延長 1,005m
大久保町高丘 1丁目地内	ダクタイル鋳鉄管φ250mm 他 施工延長 1,470mm
明南町 3丁目ほか地内	ダクタイル鋳鉄管φ300mm 他 施工延長 410m
荷山町地内 (その2)	ダクタイル鋳鉄管φ350mm 施工延長 300m

該当予算 款：資本的支出＞項：建設改良費＞目：老朽管整備事業費のうち

②魚住浄水場設備更新【5か年】 (予算額：1,165,230千円)

【5年総額：5,530,800千円】

魚住浄水場の設備老朽化により、機械・電気設備を全面更新します。施工期間は令和4年度から令和8年度まで（予定）。



年度割(予定)	内容
第1期工事 (令和4年度)	受変電設備、自家発電設備。 869,660千円
第2期工事 (令和5年度)	送配水ポンプ設備、薬品注入設備。863,500千円
第3期工事 (令和6年度)	3・4号沈殿池、1～8号急速ろ過池。1,987,920千円
第4期工事 (令和7年度)	1・2号沈殿池、9～12号急速ろ過池、1号着水井。 1,165,230千円
第5期工事 (令和8年度)	中央監視設備、2号着水井。 644,490千円



該当予算 款：資本的支出＞項：建設改良費＞目：第4次整備事業費のうち

③管路新規整備 (予算額：237,154千円)

道路の新設、拡張や区画整理又は水道単独の要因により、新規で水道管を整備します。
施工予定延長 1,390m。

工事場所	内容
魚住浄水場西部 配水場間送水管 (その2)	ダクタイル鋳鉄管φ400mm 施工延長 260m
魚住浄水場西部 配水場間配水管 (その3)	ダクタイル鋳鉄管φ200mm 施工延長 260m

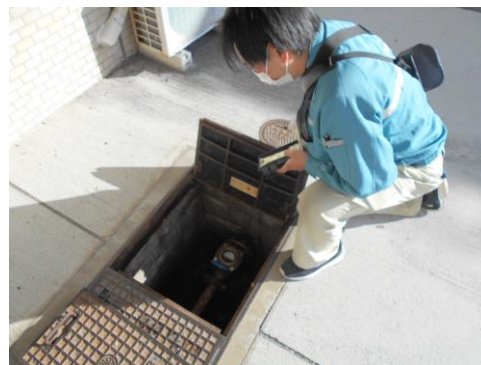


該当予算 款：資本的支出＞項：建設改良費＞目：第4次整備事業費のうち

④水道メーター補修・更新等 (予算額：161,755千円)

水道メーターは計量法により8年を期限として交換、検定することが定められています。毎年度、市内全水道メーターのうち、その期限到来（検定満期）に伴う取替や補修又は更新などを行っています。

取組項目	内容
水道メーター検定満期取替委託(1)	約 22,000 件 100,000 千円
水道メーター補修(2)	約 21,800 件 39,700 千円
水道メーター更新（購入）(3)	約 3,300 件 20,050 千円



該当予算(1)(2) 款：水道事業費用＞項：営業費用＞目：配水及び給水費のうち
該当予算(3) 款：資本的支出＞項：建設改良費＞目：固定資産購入費のうち

(2) 明石川河川水からの水源転換に関する主な取り組み

① 阪神水道からの受水関連施設等整備

(予算額：324,500千円)

【総事業費：約3,500,000千円】

明石川河川水からの水源転換事業に関し、阪神水道企業団からの新規受水に向けて必要な施設等整備を行います。施工期間は令和5年度から令和12年度まで(予定)。



工事名	内容
神戸市連絡管 布設(その2)	ダクタイル鋳鉄管φ450mm 施工延長 560m
神戸市連絡管 布設(その3)工 事設計業務	詳細設計 1式 測量 1式 地質調査 1式

該当予算 款：資本的支出＞項：建設改良費＞目：第4次整備事業費のうち

② 阪神水道企業団への加入負担金【2か年】

(本年予算額：900,000千円)

【2年総額：1,800,000千円】

阪神水道企業団からの新規受水に伴い、企業団の水道施設を利用するために企業団に加入負担金の支払いを行います。支払いは令和6年度と令和7年度の2か年。



年度割(予定)	内容
施設利用権(1) (令和6年度)	企業団への加入負担金のうち 分賦金相当額。388,000千円
出資金(2) (令和6年度)	企業団への加入負担金のうち 出資金相当額。512,000千円
施設利用権(3) (令和7年度)	企業団への加入負担金のうち 分賦金相当額。390,000千円
出資金(4) (令和7年度)	企業団への加入負担金のうち 出資金相当額。510,000千円

該当予算(1)(3) 款：資本的支出＞項：建設改良費＞目：固定資産購入費のうち

該当予算(2)(4) 款：資本的支出＞項：出資金＞目：出資金のうち

(3) 水道事業経営計画等に関する主な取り組み

①水道事業経営戦略等の策定【3か年】

(予算額：23,554千円)

【3年総額：45,654千円】

次期「水道事業経営戦略(10年間)」及び「中期経営計画(5年間)」(2027年スタート)の策定に向けた取り組み及びそれら策定に伴う上下水道事業経営審議会(審議会)の運営等に関する業務を行います。

年度割(予定)	内容
アセットマネジメント計画等策定(令和6年度)	施設の整備・廃止を踏まえた投資・財政計画の策定。 20,000千円
経営戦略策定等(令和7年度)	経営戦略等の策定。 23,554千円
経営戦略策定等(令和8年度)	経営戦略等の策定。 2,100千円

安全	安全・安心な水の供給
強靱	災害に強い水道の構築
持続	事業運営基盤の強化

図 6.1 本市水道事業の基本方針

該当予算 款：水道事業費用＞項：営業費用＞目：総係費のうち

②野々池貯水池の今後のあり方等の検討

(予算額：20,000千円)

明石川からの取水廃止(水源転換)により、野々池貯水池の貯水池としての機能を停止する計画のため、野々池貯水池の跡地利用及び跡地利用に伴う水道施設の再整備などについての検討を行う。

取組項目	内容
野々池貯水池再整備ほか基本計画等策定	野々池貯水池の跡地利用等の調査、検討などの業務委託。 20,000千円



該当予算 款：水道事業費用＞項：営業費用＞目：総係費のうち

(4) その他の主な取り組み

①上下水道庁舎の建設【4か年】 (予算額：21,200千円)

【4年総額：1,026,200千円】

水道事業及び下水道事業の効率的な組織運営、事務の効率化並びに災害対応の観点から、明石川浄水場内に上下水道庁舎を新たに建設する(*1)。

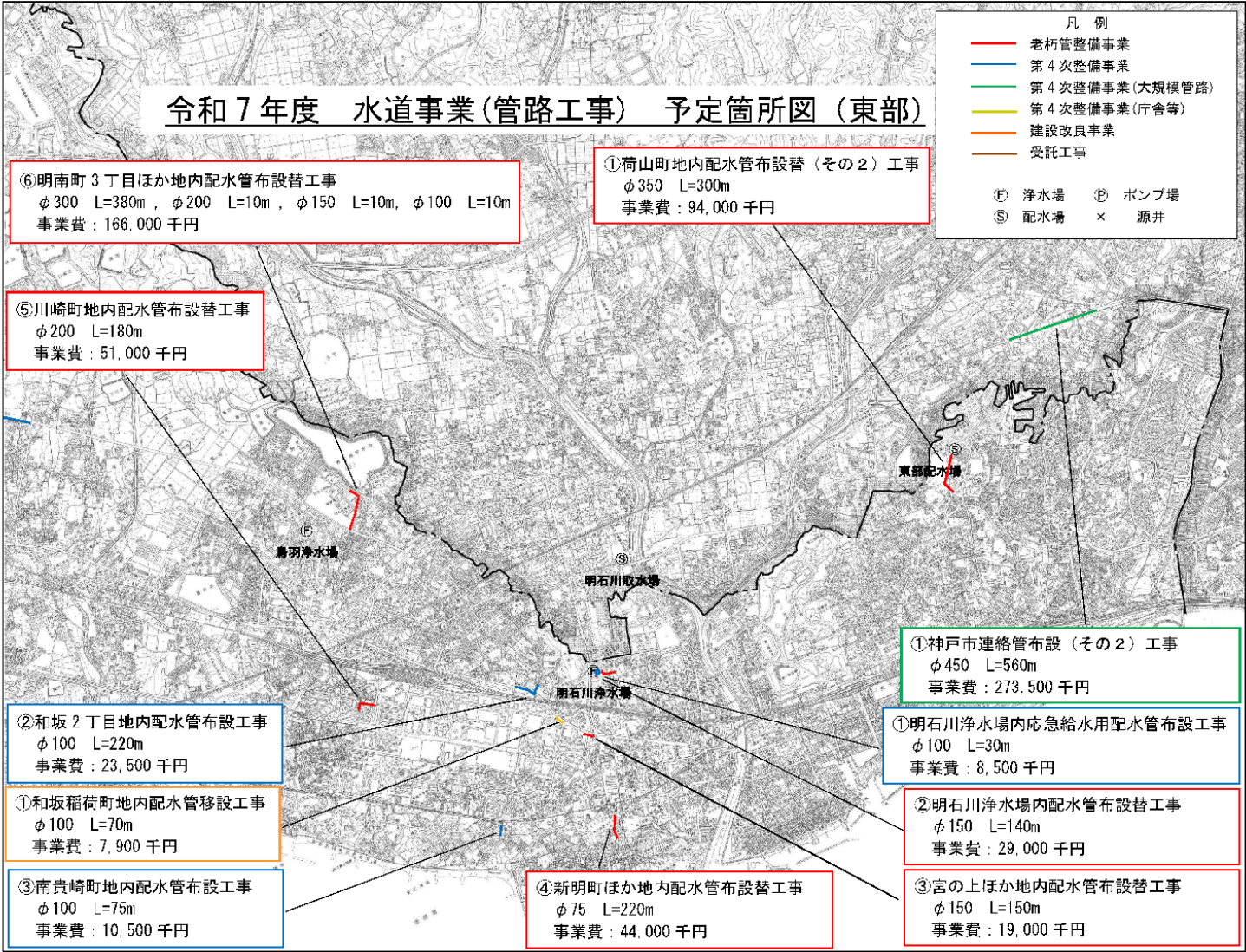
年度割(予定)	内容(水道事業会計分)
実施設計 (令和6年度)	上下水道庁舎整備に係る実施設計業務委託。38,000千円
第1期工事 (令和7年度)	上下水道庁舎建設工事3年のうちの1年目。21,200千円
第2期工事 (令和8年度)	上下水道庁舎建設工事3年のうちの2年目。689,000千円
第3期工事 (令和9年度)	上下水道庁舎建設工事3年のうちの3年目。278,000千円

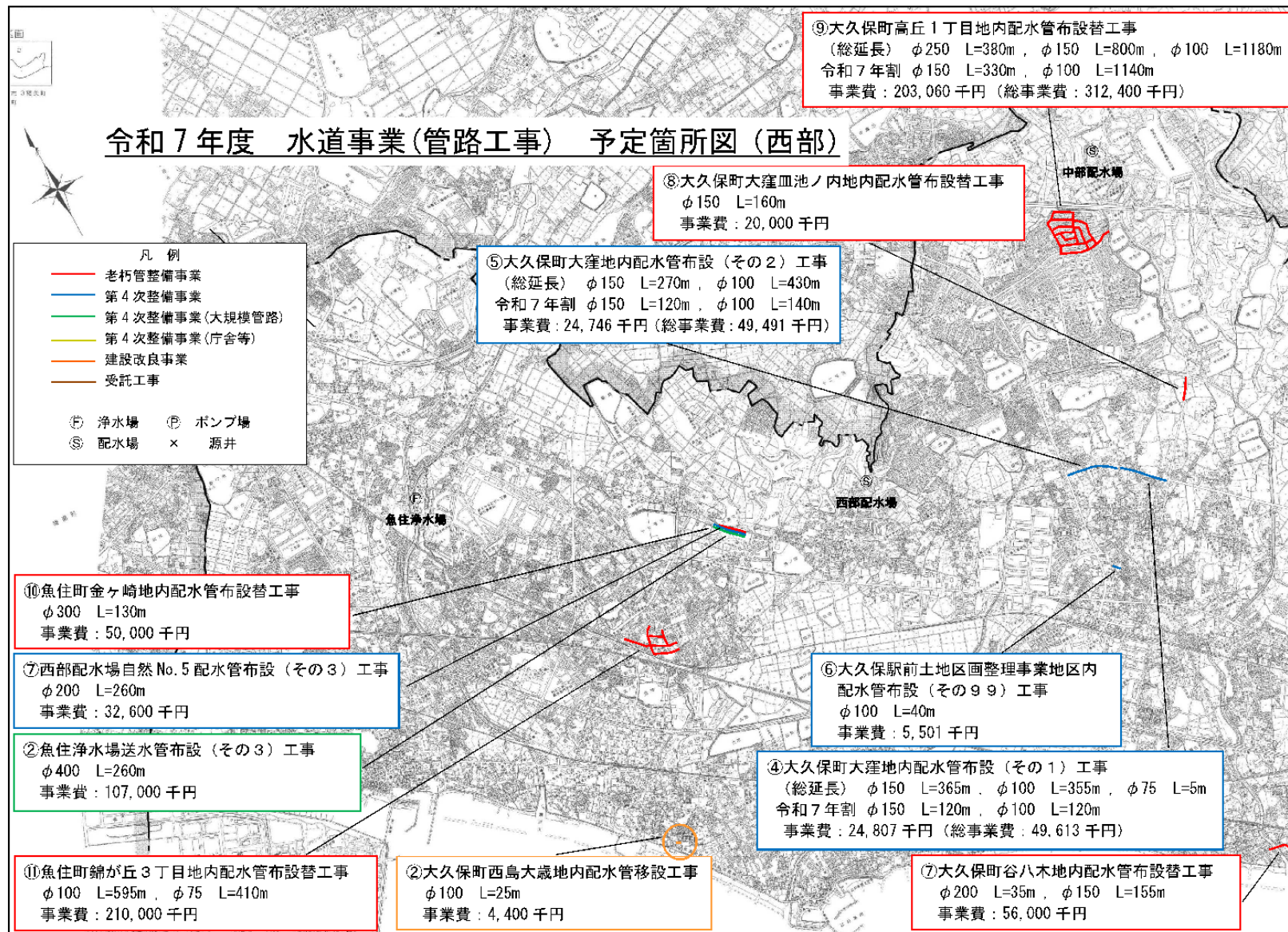


該当予算 款：資本的支出＞項：建設改良費＞目：第4次整備事業費のうち

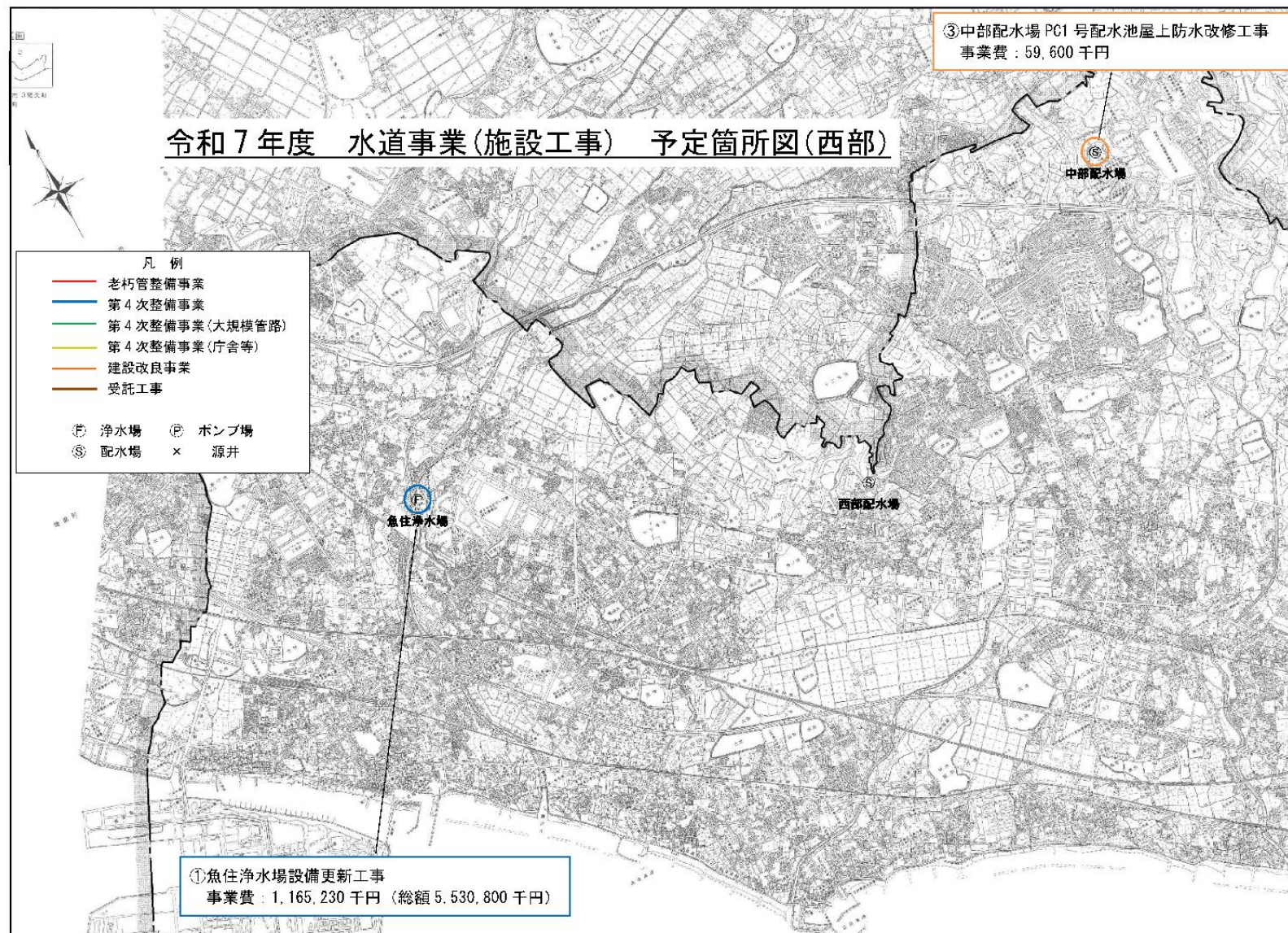
(*1)別途下水道事業も建設費用予算を計上(各事業で専有面積率によって総費用を按分)

8. 予定工事箇所図(令和7年度当初予算)









9.【参考】明石市水道事業運営に係る主な情報資料の掲載先等

- 明石市水道事業に係る決算書・予算書の内容は、以下のホームページに掲載されています。

https://www.city.akashi.lg.jp/suidou/s_keiei_ka/kessannyosan.html



- 明石市水道事業に係る財務三表の決算内容は、以下のホームページに掲載されています。

https://www.city.akashi.lg.jp/suidou/s_keiei_ka/sonekitaisyohyocashflow.html



- 明石市水道事業経営戦略、中期経営計画は、以下のホームページに掲載されています。

https://www.city.akashi.lg.jp/suidou/s_keiei_ka/suidokeyeisenryaku.html



- 明石市水道事業に係る事業概要の内容は、以下のホームページに掲載されています。

https://www.city.akashi.lg.jp/suidou/s_keiei_ka/jigyougaiyou.html



2025年(令和7年)4月

明石市上下水道局 経営管理室 水道経営課 水道財務係

〒673-8686 明石市中崎1丁目5番1号

TEL; 078-918-5064(直通)

FAX; 078-911-4066

Mail; meisuikei@city.akashi.lg.jp

明石市水道事業のホームページはこちら

https://www.city.akashi.lg.jp/suidou/s_soumu_ka/top.html

